

岸本忠三教授と平野俊夫教授 2011年 第27回)日本国際賞」受賞

2011年(第27回)日本国際賞(The Japan Prize)を、“生命科学・医学”の分野から、生命機能研究科寄附講座教授の岸本忠三博士(元総長)と生命機能研究科/医学系研究科教授の平野俊夫博士(前医学系研究科長、元生命機能研究科長)が、“情報・通信”分野からは、ベル研究所特別名誉技師のデニス・リッチー博士とグーグル社特別技師のケネス・トンプソン博士が受賞しました。

日本政府の国際社会への恩返しの意味で、日本にノーベル賞並みの世界的な賞を作ってはどうか、との構想に、松下幸之助氏が“畢生(ひっせい)の志”のもとに寄付をもって応え、日本国際賞が創設されました。本賞は、全世界の科学技術者を対象とし、独創的で飛躍的な成果を挙げ、科学技術の進歩に大きく寄与し、人類の平和と繁栄に著しく貢献したと認められる者に授与されます。また、対象となる分野は、科学技術の全分野を対象とし、科学技術の動向等を勘案して、毎年2つの分野を授賞対象分野として指定しています。1985年以来13カ国、74名が受賞しました。日本人の受賞は今回の2人含めて15名です。

岸本教授と平野教授は免疫に関する細胞どうしが情報を伝達する際に分泌される物質「インターロイキン6(IL-6)」を発見し、その多彩な機能を解明することによりこの分子が関節リウマチ等の免疫難病の発症に深くかかわっていることを明らかにしました。それらの成果をもとに我が国初



となる抗体医薬「トシリズマブ」を開発し、現在世界70カ国以上で関節リウマチ等の治療に使用され多くの人を病苦から救うことに貢献していることが評価され、今回の受賞につながりました。

4月20日に予定されていた日本国際賞授賞式並びに祝宴は、東日本大震災により中止となりました。また、日本国際賞週間行事(18日～23日)も全て中止となりました。なお、授賞式に代わり、4月20日、ホテルニューオータニ大阪にて、日本国際賞贈呈式が開催され、岸本教授と平野教授に、賞状、賞牌と賞金が贈られました。岸本教授と平野教授は、賞金から1000万円を、東日本大震災義援金として、日本赤十字社に寄付されました。

(医学系研究科・医学部、生命機能研究科)

大阪大学共通教育賞表彰式挙行

大学教育実践センターでは、5月19日(木)に当センター大会議室において平成22年度第2学期大阪大学共通教育賞の表彰式を行いました。

この大阪大学共通教育賞は、全学共通教育の授業を担当する本学教員及び非常勤講師を対象として、優れた授業を実践した教員、優れた教科書等を著した教員、全学共通教育の実践について優れた著述を行った教員、並びに全学共通教育の実施運営に顕著な功労のあった教員を表彰することによって、共通教育の質的向上を図ることを目的に平成14年度に制定されたもので、今回が18度目の表彰となりました。この顕彰制度が本学の教育のさらなる発展に寄与できることを願うものです。

大阪大学共通教育賞の選考は、全学の教員及び学生を対象に行ったアンケート結果に基づき、選考委員会において、教育上の多大な努力や優秀な教育技術等を総合的に評価され、今回は10名の教員が選出されました。



表彰式では、鷲田総長から表彰状と記念品の授与が行われ、小泉理事・副学長、工藤大学教育実践センター長、眞鍋副センター長、小田事務長も出席し、受賞者を祝福しました。